

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

<b>学校通信</b> <b>ひがしやま 第32号</b>	発行日	令和6年7月8日(月)
	発行者	別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

### ○救急救命講習の実施について。



7月4日(木)1学期末授業参観及び懇談会終了後、体育館で救急救命講習を実施しました。

講師に別府市消防本部から職員をお招きし、受講希望された保護者約20名が1時間みっちり受講しました。

★★

### ○朝の「読み聞かせ」の実施について。

7月5日(金)村津さんと東里さんがそれぞれ趣のある本をチョイスされました。村津さんが中学部のために選んだ本は「学問のすすめ」。東里さんが小学部のために選んだ本は「おいしいじいさん」。園児にはそれぞれ「だれかがきたよ」と「はやおきロビン」を読んでもらいました。



読み聞かせの前に、考えさせる場面を設定するなど準備や工夫をされていると感じました。

また子どもたちの聞く態度は大変素晴らしいです。

★★

### ○中高連絡会について。

別府鶴見丘高校、別府溝部学園高校、明豊高校及び別府翔青高校 4校に出席しました。某高校の校長が「本校はいくつもの特徴があり、人数的にも行事等に取り組みやすい。そして生徒がまっすぐである」と力説されていました。その学校のイメージを生徒が漢字一文字で称した中で最も多かったのが「楽」。それは「負担が少なく、楽勝」の「らく」の意味ではなく、学校生活の中で、いろんな「負荷」があっても「楽しい」の意味の「らく」だそうです。

私も校長室での面談で、本校を素晴らしいと話してくれる児童生徒を誇らしく、また羨ましくも思います。